

令和5年第2回 子どもプラン推進地域協議会 主な委員発言

No.	該当箇所	意見	委員 (敬称略)	会議要録 該当頁
1	前文	「前提に」、それを受けて最後は「育みます」につながるのだと理解しているが、「前提に」という言葉が強く感じるとの意見が他委員から複数あったため、表現を工夫するなど検討してほしい。	松田	8
2	(4) 子どもの「生きる力」を育む	「他者と協働しながら」の表現について。「多様な他者と協働しながら」ということと理解している。子どもの関係においては、いろいろな障害や違いを認め合うことが大事なことで、それは地域ということでは共生社会の実現につながってくるかと思う。教育という意味ではインクルーシブ教育システムというキーワードも必要かと思う。	加藤	8
3	(4) 子どもの「生きる力」を育む	インクルーシブ教育システムであったり、ほかにも不登校対策や教育環境の充実といったキーワードも入れてほしい。今のキーワードを全体的に見ると、どちらかというと乳幼児や保護者支援の感じが強いかなと思うが、調整計画を作成するときに、特に中高生であったり学習環境のこともかなり話し合われていたの、その点についても視点として入れていただきたい。	箕輪	9
4	前文	表現について。【村松】「各人の個性を尊重された成長・発達が保障されなければなりません」ですが、これは「個性を尊重された」という書き方でよろしいか。「個性が尊重された」のほうが自然な気がするが。【松田】「個性が尊重された」という意味では「が」のほうがいいですが、その後の「成長・発達が」で「が」が続いてしまうので、そのあたりをもう一度確認していただきたい。	松田	9